

# 教育広報いわき

【編集責任者】  
福島県教育庁  
いわき教育事務所  
【発行責任者】  
芳賀 稔

## 不安は誰もが感じるもの



いわき教育事務所長 芳賀 稔

以前読んだ本に次のようなことが書かれていました。「経験したことがないことには不安を感じる。誰もがそうである。」私が大切にしている言葉です。これまでの教員人生を振り返ると、失敗も含め多くの経験をさせていただきましたが、初めてのことを目の前にするとその都度不安ばかりが先に立ち、その不安との戦いがありました。

私は地元の南会津の中学校で講師を2年経験した後、県南の大規模校に採用になりました。1校目となる当時のその中学校には1000人を超える生徒が在籍しており、その生徒数の多さにはやはり不安を感じていました。実際の勤務では多くの失敗をしましたが、同時に大規模校でしかない数々の貴重な体験もさせていただきました。特に、学校生活の基本的なルールの大切さや組織としての生徒指導の在り方などを学ぶことができたことで、転出する際には、当初の不安が貴重な経験へと変わっていました。

2校目は県北の中規模校に赴任しました。教科研究に重点をおいている学校であり、力のない私

に務まるのか、不安しかありませんでした。4月に行われた授業研究会では、授業の基本について厳しく指導していただき、目の前が真っ暗になったことを鮮明に覚えています。ここでも多くの失敗を繰り返しましたが、授業の在り方、教科研究の基本など大切なことを学ぶことができ、転出する際には、当初の不安が貴重な経験へと変わっていました。その後、教育行政に異動するとき、教頭になるとき、そして校長になるときも不安しかなく、できることは目の前のことに無我夢中で取り組むことだけでした。しかし、どの場合も当初の不安は貴重な経験に変わったと実感しています。

教員は、異動だけでなく、学年や学級、校務分掌など毎年のように変化があり、その都度不安になりがちです。しかし、その不安は新しいことに挑戦するときに誰もが感じるもの、そして貴重な経験に変わるものです。私がいわきに赴任する際も不安でしたが、多くの方々に支えられ、貴重な経験となっています。これまでの様々な出会いと経験には感謝しかありません。

### 実践紹介

いわき教育事務所のホームページもご覧ください。  
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/70710a/>



## 学校教育課 ～指導担当より～

### 教育支援協議会

特別な支援が必要な子どもたちへの配慮や関係機関との連携について理解を深め、特別支援教育をよりよくするため、令和7年度は小学校の校長先生方にお集まりいただき協議を行いました。



### 地域支援体制整備事業

「チーム戦略・連携会議」を実施し、「相談・研修支援」等に取り組んでいます。子どもの見立てを通してどのような姿を目標とするのか、必要な支援方法は何かを一緒に考えました。

### イノベーション人材育成事業【算数・数学】

イノベーション人材育成推進教員による授業公開を泉北小、藤間中を会場に、年4回実施しました。教材との出合わせ方を工夫して児童生徒から問いを引き出したり、他者と協働しながら児童生徒同士が考えを深めたりするなど、どの授業も、教師が「話す」授業から脱却し、教師が「みる」「きく」「つなぐ」授業を展開しました。参観者にとっても授業改善の一助となりました。

また、今年度も、県立学校の先生に多数参加いただき、校種を越えた活発な協議が行われました。



### イノベーション人材育成事業【理科】



今年度は小名浜二中と郷ヶ丘小のイノベーション人材育成推進教員による授業を多くの先生が参観し、共に学びました。児童生徒が「問い」をもつようなしかけや、既習事項と日常生活のつながりを意識した単元構成の中で、自分の言葉で説明したり、必要な実験を考えたりする時間を十分に取ながら進む授業でした。

児童生徒が、これまでに学んだ理科の学習用語を自分たちのものとして用いながら話し合う姿や、授業者が「みる」「きく」「つなぐ」に徹する姿を見ることができる研修でした。



### ふくしま外国語教育推進リーダー活用事業に係る授業公開



今年度も3名の推進リーダーが域内小学校に配置され、「ふくしま・イングリッシュ・コンパス」を活用した外国語の授業の充実と、小中接続期における学びの過程を意識した取組による児童生徒の英語力の一層の伸長を目指しています。今年度は中央台東小と泉小で授業公開を開催し、域内の小・中学校から多くの先生がご参加くださいました。「目的・場面・状況」の工夫により児童にとって必然性のある活動になっていた、「中間指導」の充実により学びの質の高まりがみられた等、参考になったとの感想が多数寄せられました。優れた指導法の普及を目指し、今後も一層の推進を図っていきます。

### 算数・数学ジュニアオリンピック事業

10月19日(日)にいわき合同庁舎を会場に、算数・数学ジュニアオリンピックを実施しました。いわき域内では、算数・数学に関心をもつ小学生61名、中学生42名が挑戦し、問題解決を通して、算数・数学の世界を楽しみました。

どのお子さんも最後まで諦めずに挑戦し続けました。



### 理科実験講座

今年度も、県教育センターの指導主事による実験実技講習会を実施しました。前半は模擬授業から、児童生徒が主体となるための発問について考えました。後半は、授業で行う実験を、身近なグッズを用いて、安全かつ簡易的に進める方法などを教えていただきました。



## スペシャルサポートルームSSR（校内教育支援センター）

今年度は新たに1校増え、市内5校に設置されているSSR。どの学校にも共通しているのが、生徒指導委員会や心の支援委員会などを活用して学校全体で情報や対応策を共有し、組織的に取り組んでいる点です。SSR設置校以外の学校でも生かせる豊富な実践を、今年度も年3回の研修会やスクールカウンセラー研修会などで紹介・共有しました。

「学びの変革」授業デザインでは「誰一人取り残さないために」という視点で次の6つを挙げています。基本的なことですが、不登校を考える上でも大切な視点ではないでしょうか。

- ①「間違えても大丈夫」という心の安定
- ②「先生や友達から大切にされている」という実感
- ③「自分で選択・判断し、頑張ることができた」という実感
- ④ 互いを認め合い、励まし合い、支え合う共感的な人間関係
- ⑤「自分はやればできる」という実感
- ⑥ 互いを認め合い、助け合い、高め合う学級の風土作り



## 総務社会教育課 ～社会教育担当より～

### 読書活動支援者育成事業いわき地区研修会

社会教育担当から、読書に関する事業を1つご紹介します。

～ふくしまの未来をひらく読書の力プロジェクト～

読書ボランティア等の人材育成・養成および資質の向上を目的として、地区研修会を実施しています。今年度は、6月に学校司書を対象に（いわき市教育委員会「学校司書研修」との共催）、10月には一般市民を対象に開催しました。10月の研修会では、絵本専門士の石川仁美氏と、中央台南中の「中学生語り部」の皆さんを講師に迎え、絵本や読み聞かせの魅力を再発見するとともに、本や語りを通して「語り継ぐ」「伝える」ことの大切さについて理解を深めました。

※ 他に、「ビブリオバトル福島県大会・予選会」を行っています。



## 総務社会教育課 ～総務担当より～

### ◎研修会及び説明会

- 令和7年4月18日（新任向け）給与等事務担当者研修会 出席者10名
- 令和7年10月16日 年末調整事務説明会 出席者90名
- 令和8年3月11日 年度末給与事務説明会（実施予定）

### ◎事務調査

県費負担教職員に対する給与及び旅費等の支給事務について各校にて自己審査を実施

実施時期：令和7年6月～8月 審査対象期間：令和6年度分及び令和7年4月分～6月分

対象校：全校

### ◎給与等事務手続確認

諸手当等に関する給与事務手続を確認

実施時期：令和7年8月～9月 対象校：49校

ご協力、ありがとうございました。



各種表彰、おめでとうございます

(敬称略)

◆瑞宝双光章

(元)平第一小学校 校長 沢 宏一

◆教育者表彰(文部科学大臣表彰)

磐城高等学校 校長 平澤 洋介

◆文部科学大臣優秀教職員表彰

平第三小学校 主幹教諭 野辺田 真実

磐城桜が丘高等学校 教諭 伊藤 沙緒里

◆優良PTA文部科学大臣表彰

いわき市立内郷第一中学校「父母と教師の会」

◆文部科学省社会教育功労者表彰

いわき市社会教育委員 神山 敬章

◆福島県教育・文化関係表彰

【地方教育行政功労者】

(元)いわき市教育委員 根本 紀太郎

【学校教育功労者】

平第五小学校 校長 渡辺 貴生

磐城高等学校 校長 平澤 洋介

【永年勤続者】 計73名

(内訳) 小学校18名、中学校24名、高等学校20名  
特別支援学校7名、教育庁等4名

【児童生徒(団体)】

磐城高等学校文学部

平工業高等学校土木環境工学部

【優秀教職員】

いわき総合高等学校 教諭 増井 優

【若手教職員奨励賞】

平支援学校 教諭 昆 瑞希

◆福島県教職員研究論文表彰

【入選】

郷ヶ丘小学校(代表) 校長 蛭田 紀隆

平支援学校 教諭 昆 瑞希

【奨励賞】

平第五小学校(代表) 校長 渡辺 貴生

ほかにも多くの教職員、児童生徒が団体・個人で素晴らしい成績を収めました。



学校教育課 ～管理担当より～

いわき市内の公立学校で、講師として勤務できる方を募集しています



市内の多くの公立学校で、講師が不足しており非常に困っています。  
親族、友人、近所の方、退職された方など多くの方へお声かけのご協力をお願いします。

しばらく教壇に立っていないのだけど…  
初めて教壇に立つので自信がないのだけど…  
教員免許を更新していないのだけど…  
毎日働くのは難しいのだけど… etc



＜申込書類は二次元コードから＞



上記のような悩みがある方も、学校での勤務に向けて、お気軽にご相談ください。

連絡先：いわき教育事務所 管理担当 0246-24-6216



福島県立  
**いわき商業情報  
高等学校**  
2026年4月 開校予定

2026年(令和8年)4月  
平商業高等学校と四倉高等学校は統合し  
商業科・情報科に特化した  
新たな専門高校に生まれ変わります。

- 流通ビジネス科 (仮称) [2923806]
- 情報ビジネス科 (仮称) [1923408]
- 会計ビジネス科 (仮称) [1923408]
- IT科 (仮称) [1923408]

